

別記様式(第4条関係)

会議録

|                                                                                                                |                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 会議の名称                                                                                                          | 加東市電子自治体推進計画策定委員会（第2回）          |
| 開催日時                                                                                                           | 平成28年11月28日(月) 10時00分から12時09分まで |
| 開催場所                                                                                                           | 市庁舎402会議室                       |
| <p>委員長の氏名（小和田 善之）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>櫻間 秀彦 ・ 勝田 憲弘 ・ 森 幹雄 ・ 森岡 伸寿</p> <p>長濱 正宏 ・ 北原 豊 ・ 澤野 俊一</p>       |                                 |
| <p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>総務部長 時本 敏行</p> <p>総務課</p> <p>課 長 長田 徹</p> <p>副課長 原田 幸広 ・ 主幹 藤井 嗣人 ・ 主査 小笠原 和慶</p> |                                 |
| <p>傍聴者 0名</p>                                                                                                  |                                 |

## 会議結果

会議録署名委員 森 幹雄 ・ 澤野 俊一

### 議 事

- (1) 基本方針の事前検討（再） ～ クラウド化を例として  
【資料－１】

クラウド化採用とした

- (2) 電子自治体推進計画の素案の骨子について  
【資料－２】

資料（案）のとおり決定した

※配布資料一覧については、最後頁に掲載

(1) 基本方針の事前検討(再) ～ クラウド化を例として

事務局 説明

委 員 加東市のデータ量なら、個人用のPCで管理できるのでは。あわせて自庁式のほうが、安価だと思う。また、業務で使用するソフトをカスタマイズ化して、より市民サービスの向上をはかるのが当会の狙いでは。また自庁式を採用し、コンピューター専門の職員を雇用するほうが安価だと思うが。

事務局 カスタマイズ化は価格が上がるため、一般的なパッケージソフトを活用している。カスタマイズのための費用は、別のところで市民サービス向上に活用したい。

委 員 今回のクラウド化の提案は、データ、ソフト含めて事業者委託するって、ことですよね。そうすると次回の更新時においても事業者自らバージョンアップするし、結果コスト安になると思う。長期でみて、コスト、安全性は高い。国や県もこうした流れになってきている。

委 員 市で一括管理することで、専門職も雇用したほうが安価ではないか。

委 員 クラウド化は、貴重な市民のデータを外部に出さない、こわさない、というのが狙い。そこは大きな優位性だと思う。

委 員 その割には高価ではないか。

委員長 データ量の大小ではなく、貴重な市民データ。一般の個人データと同じ扱いにはできない。それも踏まえて、現状のまま更新するのと、クラウド化を比較した場合の話をしたい。

委 員 要は、当計画の推進にクラウド化がどう作用するかですよね。

委員長 2つあります。コスト、安全性。

委 員 私は、提示された資料で理解できた。

委 員 確認です。クラウド化しても有事の際、庁舎にデータは届くのか。

事務局 すべては不可です。

委員長 例えばコンビニ発行で、クラウド化のほうがデータのやりとりはしよいと考える。委員が言われるように、データ量だけでは判断できない。

委 員 事業者に委託すれば、他人が関わる機会が増える。これはトラブル(情報漏えい)のもとになるのでは。

委 員 市だけでどこまで責任(補償)がとれるかです。クラウドだと、その責任も担保がとれると思う。直近の金額だけ見れば議論の余地はあるが、全体の流れや将来性を見るとどうか。例えばデータ保管する建物の「消火設備」は、とても高価。市単独で準備するのは困難かと思われる。

委員長 私の学校も、一部クラウド化です。同じサービスを提供できるならコスト重視となる。学校の場合、全体をクラウド化するには採算があわなかったという経緯もある。

委 員 安全面を考えるとクラウド化はいかがかと思うが。

委員長 委員が言われることの、根拠がない。自庁式もクラウド化も言い出したらキリがない。

委 員 当会は、ＩＣＴを活用して、市民サービスの向上をはかることが狙いですよね、今の議論は、コストの話ばかり。将来の話を含めて協議するほうがよい。

－（１）の協議をおいて、先に（２）の協議に入る－

>

－中 断－

>

委員長 さて、クラウド化の意見もたくさん伺いました。計画素案の第４章で、クラウド化のメリットも含まれている。この方向で進めてどうでしょうか。

委 員 震災時の罹災証明どうするの

事務局 最小限のデータを自庁で保管する。

委 員 義務的経費が増すのはいかがか。

委 員 この後、クラウド参加している自治体しか参加できないようなサービスがでてくるかも。

委員長 国や県もそうした取り組みに力を入れている。それを見据えてのもの。利便性、安全性、コスト面。現時点ではメリットが高い。

委 員 いや、４テラ程度のデータ量でこのシステムは不要かと。

委員長 ですから、データ量だけの比較はしがたい。

事務局 全体に経費をさげる努力は常にしている。このたびのものは、現状と比較してクラウドが優位にあるという判断で提案している。経費だけではなく。将来性も含めての結果です。５年、１０年先をみて協議いただきたい。

委員長 では、クラウド化を進める、でよろしいか（異議なし）

## （２）電子自治体推進計画の素案の骨子について

事務局 説明

委員長 全体で５章からなる骨子案ですね。

１章安全・安心の推進について意見ありますか。（意見なし）

委 員 亀岡市の計画はより具体的な表記がある。加東市はどこまで書くの。

事務局 今後の予算や社会情勢もある。あくまでも案です。

事務局 イメージのつかみにくいものは、もう少し詳細が伝わる文言を検討いただければと思う。

委員長 亀岡市のものはアクションプランに近いものです。どのあたりまで具体的表記をするかは協議です。

事務局 市によって、強み、弱みあります。そこをうまく活用して計画に反映できれば、と考える。

委 員 サービスの受益者がこのままでは限定される。高齢者も含めより幅広い層のサービス提供ができるものと、文言入れて欲しい。

事務局 基本理念のなかに、多くの市民にサービスがゆきわたるようにと、したい。

委 員 多分、私の母にはＩＣＴといっても伝わらないので、表記も注意いただきたい。

委員長 １から５章のなかで、クラウド化、自庁化で差異がでる。

例えば、コンビニに交付で、自庁化なら、発行できる時間制限があるとか、システムが複雑化するとか。

ただ、公共料金のコンビニに収納も当たり前になると思う。

素案の骨子でよろしいか（異議なし）

委員長 では、これをもち議事終了とします。

－ 閉 会 －

【配布資料】

| 資料番号  | 資料名称                          |
|-------|-------------------------------|
| 資料－１  | 基本方針の事前検討（再） ～ クラウド化を例として     |
| 資料－２  | 加東市電子自治体推進計画の素案の骨子について        |
| 配布資料１ | クラウド化による試算表                   |
| 配布資料２ | 電算関連経費内訳（平成２７年度決算額）           |
| 別冊１   | （参考） 亀岡市情報化推進計画（※基本方針部分の一部抜粋） |
| 別冊２   | （参考） 猪名川町情報化計画基本方針            |